

静岡県が、新野球場建設を検討している地域は、遠州灘海岸に隣接しており絶滅危惧種アカウミガメの国内有数の貴重な産卵地です。ウミガメは国際的な保護動物のため、県は野球場や公園を建設した場合、海岸に漏れ出る光が行動に影響を及ぼすか調査を行いました。私自身も、本市公園課、県公園緑地課の影響調査にも立ち会い、行動に影響することを確認しています。そのため、県は「ドームか照明設備なし」で建設案を見直すことになり、2022年12月の県議会建設委員会で、基本計画の策定時期が本年6月の予定であることと、屋根なしの小規模球場2案、現行案の利用料金の試算を示しました。

一方、本市では、浜松市、浜松市議会、商工会議所、自治連合会で「建設促進期成同盟会」が発足しましたが、市民からの建設反対の声も多く聞きます。また、浜松市議会の期成同盟会への参加は、市議会議員46人の総意ではありません。公開の場で議論し、賛同する議員のみの参加にすべきでした。

公園建設には、本市が要望するドーム型球場整備だけで370億円、整備費総額は520億円、年間維持管理費は3億円、30年後の大規模修繕費に220～230億円もの費用がかかることが県により試算されています。使用料も、ドーム型の日中使用料は、一般93,000円と試算され、現在の浜松球場20,470円の約4.5倍となるため、学生や市民が利用しにくくなると思われます。

また、ウミガメへの影響を排除するためには、周辺設備や駐車場などの光対策も必要です。さらに、この地域は液状化の可能性が高いため、対策も必須となります。

今後、ますます少子化が進むと予測される中、巨額な税金を投入しハコモノを建設することは、未来を担う子どもたちにツケを残すこととなります。市民、県民の未来を考えた時、私は、このドーム型大型野球場の建設には反対します。

昨年、愛知県長久手市にオープンしたジブリパークの整備費は340億円、周辺整備費込みの総整備費は497億円ですが、老若男女が親しんで利用出来る公園になっているようです。しかし、野球場に特化したスポーツ公園では、ジブリパーク同様の整備費を投じて、誰もが親しんで利用出来る公園になるとは思えません。野球場建設にこだわらず、多くの世代の市民が利用しやすく、この地域の環境に配慮した公園建設が相応しいと考えます。



遠州灘海浜公園篠原地区整備予定地



「市民サポート浜松 馬塚さやか」の議員活動を
8年間支えていただき、ありがとうございます
今後も、「市民が住みやすい浜松」を目指して行動します
ひきつづき、応援よろしくお願いたします

報告
REPORT
市民サポート浜松
馬塚さやかの活動報告

本年度、常任委員会は市民文教委員会、特別委員会は地方創生特別委員会に所属しました。

2022年11月にICT(情報通信技術)教育が進められている南区の浜松市立可美小学校の教育現場に視察に行きました。

可美小学校では、タブレット型端末や電子黒板などを授業ごとにフル活用されている様子を見学しました。児童・生徒1人1台のタブレット型端末の配布が完了し、本市のICT教育が、着実に進んでいることが実感できました。



可美小学校 ICT学習の様子

2022年7月に、タブレット端末が議員全員に貸与されました。これに伴い、適正な運用に努める議会デジタル化推進員となりました。

現在、浜松市議会では、紙による膨大な量の資料が配付されていますが、議会のデジタル化、ペーパーレス化を目指していきます。同年12月には、オンライン委員会の開催に備え模擬的な議案審査を行いました。今後、すべての議員がタブレット端末を活用できるようになり、会議や視察等のリモート参加ができるように推進していきます。

また、2022年10月に決算審査特別委員会で締めくくり質疑を行い、「子育て世代を全力で応援するまち」の施策の不足を指摘し、山名副市長に子育て世代が魅力を感じるような施策の充実を要望しました。

報告
REPORT
令和3年度決算について

令和3年度の一般・特別会計の合計は、前年度に比べて歳入は501億円の増、歳出は520億円の減でした。

令和3年度末の市債残高は、4,318億円です。前年度に比べ、126億円の削減となりました。中期財政計画では、前年度に比べ54億円の増の4,646億円という目標値でしたが、それを上回る結果となりました。市債残高4,318億円に対する市民一人あたりの市債残高は54万4千円です。前年度に比べ、1万3千円の減です。

歳入		歳出	
一般会計	3,946億	一般会計	3,834億
特別会計	2,252億	特別会計	2,190億
合計	6,198億	合計	6,024億

市民相談について

〇〇ってどうなってるの?〇〇したいけど、どうしたらいいの? 疑問、ご相談など、下記までご連絡ください。

馬塚さやかにお声をかけてください

皆様の地域のイベントや会合などにお声をかけて下さい。馬塚さやかが、市政のご報告やご意見ご要望を伺います。一緒に考え、市政に活かしていきます。



浜松市議会 市民サポート浜松 053-457-2491

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所7階 FAX 053-457-2490

sayaka.m@hamamatsu-shigikai.jp https://www.sayakamazuka.jp/





浜松市議会報告

市民
サポート
浜松

市民の皆さまに市議会の活動を身近に感じていただけるようにします

報告 議会質問について

本年度は、市民相談での妊婦さんの切実な訴えと、自身のライフステージの変化による気づきを軸に、2022年12月2日に議会質問を行いました。

市民の皆さまに、議会での質疑応答を紙面で報告させていただきます。



質問に立つ馬塚さやか

質問項目と答弁概要

- Q1. 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援のために**
- (1) 妊婦健診の助成14回を15回に拡大を
 - (2) 妊産婦が相談しやすいLINE相談導入を
 - (3) ①一時保育の現状と体制確保について
 - ②妊婦への伴走(寄り添い)支援について
 - (4) 放課後児童会待機児童解消の取組、学区外入会への対応を

●答弁者/(1)(2)(3-②)鈴木医療担当部長
(3-①)吉積こども家庭部長
(4)田中学校教育部長

A.(1)県内統一体制のため他市町の状況を踏まえ判断した。他政令市の意向を確認し、国へ要望していく。

(2)LINE相談には、ノウハウの蓄積や職員の人材育成が課題。今後デジタルを活用した相談方法は検討する。

(3)①一時保育の受入れ枠設定には、施設の空き定員が常時必要で運営面の負担、人員確保に課題。健康増進課と情報共有と連携を図り、保育サービスに繋がりやすい方法を検討する。

②幼児教育・保育課と連携し、新たにケース別支援内容のチラシを作り、母子手帳交付時に配布して支援の拡充を図る。

(4)開設場所確保と委託化で人材確保を図り、定員拡大を進めて待機児童数の早期解消に努める。学区外入会には課題があり、状況を踏まえ対応策を検討する。

Q2. 脱プラスチックに向けて

- (1) ①プラ製以外のエコ容器購入補助事業の分析結果
- ②分析結果を踏まえたプラスチック削減に向けての考え
- (2) ①硬質プラの分別収集、再商品化の検討状況
- ②循環型社会形成推進計画の更新までにどう行こうか

●答弁者/(1-①)藤野産業部長
(1-②)(2-①②)藤田環境部長

A.(1-①)補助を受けた約6割が事業をきっかけにエコ容器に転換したと推察され、環境配慮への啓発に一定の効果があった。

A.(1-②)事業の実績や意見から、事業者向け施策も必要と考え、今後プラスチック対策の啓発と協力を働きかける。

(2-①②)実施には課題が多い。事業者による自主的なプラスチックの使用削減や再利用・自主回収の取組促進を後押しし、市民にも啓発する。

Q3. 取得しやすい休暇制度について

●答弁者/金原総務部長

A.生理休暇の低取得率が課題と認識している。本年度中にプロジェクトチームが職場環境整備を提案する。意見交換や名称変更等、取得しやすい環境整備に努める。

Q4. 災害時の備蓄品について

- (1) 備蓄品の目標数と充足数、不足理由
- (2) 賞味期限が近い備蓄品への対応状況と課題
- (3) 使い捨て哺乳瓶の備蓄について

●答弁者/小松危機管理監

A.(1)食料や水、毛布、衛生用品など計画的に配備・更新している。備蓄品目や量が年々増加し、保管場所の確保が喫緊の課題。昨年度末時点で、毛布と便袋が不足している。今後計画的に確保する。

(2)育児用ミルクは市内保育施設や看護専門学校、フードバンクなどに譲渡。アルファ化米は、自主防災隊に譲渡し地域防災訓練等で活用。新型コロナの影響で防災訓練の自粛が多く、アルファ化米の活用が減少しHPで希望を募っている。

(3)自助による備蓄が原則だが、災害時における授乳環境確保のため、市の備蓄品目に追加を検討する。



子育て支援 一時保育について

もうちょっと詳しく①

皆さんは、出産や急病、職業訓練等で保護者が保育できない場合の支援制度として、一時保育が利用できることをご存じですか？

子育て情報サイトびびりには、施設空き状況表が掲載されています。空きが少ないなど課題はありますが、利用されたい場合は各施設へ相談することになっています。

しかし昨年、市内在住の妊婦さんから「胎児が双子のため1か月半後に出産前入院の予定だが、その間の上の子の預かり先が見つからない」と相談がありました。この方は、上の子が家庭保育のため妊娠初期から預かり先を探していたものの、担当課間の情報共有がなされず、園に繋がるのが遅かったために希望した支援を受けられず親族が離職する結果となりました。

以後、このような事態が起きないように各担当課と調整をしました。今後は、各担当課の連携強化を行い、母子健康手帳交付時にケース別支援内容のチラシが配布されるようになります。ご自分に必要な支援を受けられるように、ぜひご覧ください。



循環型社会形成 推進計画ってなに？

もうちょっと詳しく②

使い捨て社会から脱却し、天然資源の消費を減らし資源を再利用・再生することで循環させ、環境への負荷が低減された社会を実現するため、2001年に循環型社会形成推進基本法が施行されました。本市も、この法律を基に推進するための計画を立てます。私たちが普段行っているごみの分別収集もこの一環です。さらに、現在は捨てられているハンガーやおもちゃなどの硬質プラスチックの回収や再商品化への対応を求められています。



報告 REPORT 区再編・新区名について

区再編における区域と区名について、行政区画等審議会より下記の答申がありました。

- ・2022年7月:行政区を7区から3区に再編し、区域を変更すること。
- ・2022年11月:新区名は市民アンケート結果を参考にして、**中央区**(現中区・東区・西区・南区・北区の三方原地区)、**浜名区**(現北区の三方原地区以外・浜北区)、**天竜区**とすること。

本年2月の条例議決により正式決定し、**2024年1月1日に新区に移行する予定**です。

話題 TOPICS 資源物回収用 コンテナについて

資源物回収時に使っている5種類のコンテナは、1個3.2kgの重さがあります。さらに、積み重ねてあるので、収集前の設置時に苦勞されている方が多いのではないのでしょうか？

2021年3月の議会質問で、資源物回収時の負担軽減と費用削減のため、軽くて扱いやすい回収用ネットへの変更を求めました。ご希望があれば、ネットの配布が可能なので、ぜひ積極的に変更をご検討ください。設置が出来ない場所もあるそうなので、切り替えをご希望の方は、まず自治会でご相談のうえ、各担当の清掃事業所にお申し込みください。

また、この議会質問時に、市民のコンテナ設置時の負担軽減を考えて欲しいと要望したところ、負担を軽くするためのアタッチメントが試作されました。現在、試作品を数力所で試験導入しています。試用されている自治会の方に効果を伺うと、「コンテナ同士の重なりが浅くなり取りやすくなった」とのことですので、こちらの推進もしていきたいと思えます。



設置したアタッチメント



回収用ネット